※令和３年度以前入学生用

学校番号	3018

令和５年度　福祉科

教科	福祉	科目	こころとからだの理解	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	こころとからだの理解（実教出版）						
副教材等	「見て覚える介護福祉士国試ナビ」（中央法規） 「介護福祉士重要過去問　完全マスター問題集」（ナツメ社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

介護を実践する際に必要な「こころとからだのしくみ」について勉強をしていきます。３年生では、特に高齢期の症状・疾患について特徴を学び、留意すべき点や保健医療職との連携について理解を深めていき、介護福祉士として必要な専門性を身に付けます。

①人間の「こころのしくみ」や「からだのしくみ」に興味や関心を持って授業に取り組み、グループワークや発表など、積極的に参加しましょう。

②国家資格である介護福祉士の受験資格を取得するために必要な科目です。

③介護福祉士の合格をめざして主体的に家庭学習を行い、単に知識を身に付けるだけではなく、実践的で体験的な学習活動で得た知識や技術を活用して、介護現場の状況に応じた判断力と実践力を身に付けましょう。

２　学習の到達目標

自立生活を支援するために必要なこころとからだの基礎的な知識を習得させ、介護実践に適切に活用できる能力を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人間の「こころのしくみ」や「からだのしくみ」について関心をもち、介護を必要としている人の気持ちに寄り添った援助ができるよう、主体的に取り組むとともに実践的な態度を身に付けている。	高齢者や障がい者などに多く見られる疾病や機能低下が及ぼす日常生活での諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術をもとに、適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	介護を実践する際に必要なこころとからだについての基礎的・基本的な技術を身に付け、根拠にもとづいてその技術を適切に活用している。	人間の「こころのしくみ」や「からだのしくみ」に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、高齢者や障がい者の尊厳を守る介護の基本を理解している。
評価方法	・学習状況の観察 ・グループワーク ・ワークシート ・学習プリント ・発表	・定期考査 ・学習状況の観察 ・グループワーク ・ワークシート ・学習プリント ・発表	・実技演習 ・グループワーク ・ワークシート ・学習プリント ・発表	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート ・学習プリント ・発表

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第3編　人間の成長と発達の基礎的理解	第2章　発達とは 1　老年期の発達と成熟 2　加齢に伴う心身の変化と特徴 3　加齢に伴う心身の変化と日常生活への影響 4　高齢者の心理	 ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ 	 ○ ○ 	a:高齢者の老化の特徴について関心をもち、共感的な理解に立って高齢者の心理を探究しようとしている。 b:加齢に伴う心身の変化について思考を深め判断し、日常生活における影響を適切に表現している。 c:加齢に伴う心身の変化と特徴に関する様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。 d:エリクソンの心理学的発達モデルやからだを守るための恒常性を維持する４つの力について理解している。	・学習状況の観察 ・グループワーク ・ワークシート ・発表 ・定期考査 ・小テスト
		第3章　高齢者と健康 1　高齢者の疾病と生活上の留意点 2　保健・医療職との連携	○ 	○ 	 ○	○ 	a:高齢者の疾病について関心をもち、その症状や特徴を探究しようとしている。 b:高齢者のからだの不調の訴えについて思考を深め判断し、その原因と特徴を適切に表現している。 c:保健と医療職との連携に関する様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。 d:高齢者の症状と疾病の特徴について理解している。	

※令和３年度以前入学生用

	第5編　障がいの理解	第1章　障がいの基礎的理解 1　障がいの概念 2　障がい者福祉の基本理念	 ○	○	○	○ ○	a:障がい者福祉について興味をもち、よりよい支援方法を探究しようとしている。 b:障がい者福祉の基本理念について思考を深め判断し、適切に表現している。 c:障がいに関する様々な資料や情報を収集し適切に活用している。 d:障がい者関係法規、ノーマライゼーションやリハビリテーションの考え方、国際障害者年の理念について理解している。	
2学期	第5編　障がいの理解	第2章　生活機能障がいの理解 1　身体障がい ①視覚障がい ②聴覚障がい･言語障がい ③肢体不自由 ④内部障がい	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:身体障がいについて関心をもち、より良い生活支援を行うために探究しようとしている。 b:身体障がいにおける生活上の困難について思考を深め判断し、障がいに応じた支援方法を適切に表現している。 c:身体障がいの種類について様々な資料や情報を収集し適切に活用している。 d:身体障がいの種類とその原因や医学的な基礎知識について理解している。	・学習状況の観察 ・グループワーク ・ワークシート ・発表 ・定期考査 ・小テスト
		2　精神障がい 3　知的障がい	○ ○	 ○	○	○ ○	a:精神障がいと知的障がいについて関心をもち、より良い生活支援を行うために探究しようとしている。 b:精神障がいと知的障がいにおける生活上の困難について思考を深め判断し、障がいに応じた支援方法を適切に表現している。 c:精神障がいや知的障がいについて様々な資料や情報を収集し適切に活用している。 d:精神障がいや知的障がいの種類とその原因や医学的な基礎知識について理解している。	

※令和３年度以前入学生用

		発達障がい 5 高次脳機能障がい 6 難病	○ ○ ○	○ ○	 ○ 	○ ○ ○	a:発達障がい、高次脳機能障がい、難病について関心をもち、より良い生活支援を行うために探究しようとしている。 b:発達障がい、高次脳機能障がい、難病における生活上の困難について思考を深め判断し、障がいに応じた支援方法を適切に表現している。 c:発達障がい、高次脳機能障がい、難病について様々な資料や情報を収集し適切に活用している。 d:発達障がい、高次脳機能障がいの種類や医学的な基礎知識について理解している。	
		第3章 障がいに伴う心身の変化と日常生活 1 障がいのある人の心理 2 障がいに伴う機能と変化と日常生活への影響	 ○ ○	 ○	 ○ 	 ○ 	a:障がいについて関心をもち、共感的な理解のもと、障がいのある方に対するよりよい支援方法について探求しようとしている。 b:障がいを理解するために思考を深め判断し、特徴的な行動障がいと心理的要因について適切に表現している。 c:障がいの方の日常生活への影響に関する様々な資料を収集し、適切に活用している。 d:障がいに関わる行動と心理的症状について理解している。	
		第4章 障がいと地域生活支援 1 地域におけるサポート体制 2 家族への支援	 ○ ○	 ○	 ○ 	 ○ 	a:地域におけるサポート体制について関心をもち、共感的な理解のもと、家族のある方に対するよりよい支援方法について探求しようとしている。 b:家族の気持ちを理解するために思考を深め判断し、適切に表現している。 c:家族の支援として地域におけるサポート体制に関する様々な資料を収集し、適切に活用している。 d:地域におけるサポート体制について理解している。	

※令和３年度以前入学生用

	第2編　生活支援に必要なこころとからだの理解	第2章　生活に関するこころとからだの特徴 １　感染症に関するこころとからだのしくみ	○	○	○	○	a:感染症について関心をもち、感染予防に向けた取り組みを探究しようとしている。 b:高齢者施設で発生しやすい感染症について思考を深め判断し、その予防策を適切に表現している。 c:介護職員が感染源にならない取り組みについて資料や情報を収集し適切に活用している。 d:感染症に関する基礎知識やスタンダード・プリコーションについて理解している。	
		２　終末期に関するこころとからだのしくみ	○	○	○	○	a:生きることと死ぬことについて関心をもち、専門職として終末期の関わり方を探究しようとしている。 b:終末期のケアについて思考を深め、要介護者とその家族の関わり方を適切に表現している。 c:終末期ケアについて資料や情報を収集し適切に活用している。 d:死にゆく人の心理過程や死後の身体的な変化について理解している。	
		３　緊急時に関するこころとからだのしくみ	○	○	○	○	a:緊急時に関する対応方法について関心をもち、専門職として必要な知識や態度を探究しようとしている。 b:専門職として緊急時の対応について思考を深め判断し、適切に表現している。 c:緊急時の対応について資料や情報を収集し適切に活用している。 d:緊急時の心身の状態や緊急時の対応方法について理解している。	

※令和３年度以前入学生用

3学期	国家試験問題 こころとからだのしくみ	国家試験問題:こころとからだのしくみ 1 こころのしくみの理解 2 からだのしくみの理解 3 身じたくに関連したこころとからだのしくみ 4 移動に関連したこころとからだのしくみ 5 食事に関連したこころとからだのしくみ 6 入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみ 7 排泄に関連したこころとからだのしくみ 8 睡眠に関連したこころとからだのしくみ 9 死にゆく人のこころとからだのしくみ	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:介護福祉士の国家試験の出題範囲の一つであるこころとからだのしくみについて、関心を持って取り組んでいる。 b:国家試験の事例問題について、３年間学習してきた知識や技能を使って思考を深め、適切に表現している。 c: 国家試験問題について過去問題を収集・分析し、適切に活用している。 d:介護福祉士の国家試験の出題範囲の一つであるこころとからだのしくみについて、専門的な知識を理解している。	・学習状況の観察 ・ワークシート ・定期考査 ・小テスト
	国家試験問題 発達と老化の理解	国家試験問題:発達と老化の理解 1 人間の成長と発達の基礎的理解 2 老年期の発達と成熟 3 老化に伴うこころとからだの変化と日常生活 4 高齢者の健康	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:介護福祉士の国家試験の出題範囲の一つである発達と老化の理解について、関心を持って取り組んでいる。 b:国家試験の事例問題について、３年間学習してきた知識や技能を使って思考を深め、適切に表現している。 c: 国家試験問題について過去問題を収集・分析し、適切に活用している。 d:介護福祉士の国家試験の出題範囲の一つである発達と老化の理解について、専門的な知識を理解している。	

※令和３年度以前入学生用

	国家試験問題　障がいの理解	国家試験問題:障がいの理解 1　障がいの基礎的理解 2　障がいの医学的側面の基礎的知識 3　連携と協働 4　家族への支援	 ○ ○ ○ ○		 ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:介護福祉士の国家試験の出題範囲の一つである障がいの理解について、関心を持って取り組んでいる。 b:国家試験の事例問題について、３年間学習してきた知識や技能を使って思考を深め、適切に表現している。 c: 国家試験問題について過去問題を収集・分析し、適切に活用している。 d:介護福祉士の国家試験の出題範囲の一つである障がいの理解について、専門的な知識を理解している。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。